

防衛北海道

Bouei Hokkaido
August 2014
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense



Vol.35



Photo : (上) 平成26年度陸・海・空自衛隊合同コンサートでの合同演奏(札幌コンサートホール Kitara)
(下左) 陸上自衛隊中央音楽隊 (下中央) 海上自衛隊東京音楽隊と独唱する三宅3等海曹 (下右) 航空自衛隊航空中央音楽隊
(写真提供 : 北部方面総監部報道室)

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



平成26年度 北海道基地協議会総会



協議会総会

道内の駐留軍又は自衛隊の基地等が所在する地方公共団体、若しくはその周辺の地方公共団体（59市町村）をもって組織する「北海道基地協議会」（会長：山口幸太郎千歳市長）の平成26年度総会が、13市13町の首長等の参加のもと、5月27日上富良野町で開催され、防衛省地方協力局から谷井淳志地方協力企画課長、北海道防衛局から島川正樹局長（当時）並びに総務省及び北海道などから合わせて約30名が出席しました。この会は、自衛隊基地関係の共通問題の調査研究、その具体的解決策等について関係団体と連携を保ち、関係住民の生活安定及び福祉の向上を推進することを目的としています。

総会の冒頭、山口会長は、「演習場や駐屯地等を提供するなかで起こる、それを原因とする諸障害、騒音の問題等については、国の責任においてしっかりと対策していただきたいというのが当協議会の本旨であり、これまで国の方で誠心誠意対応していただき、私たちの意見要望を取り入れながら逐次その制度の拡大、拡充を図っていただいているところである。」と述べられました。続いて、開催地である上富良野町の向山富夫町長が、「私たちが暮らしているこの富良野圏域は、昭和30年に上富良野駐屯地・演習場が開設、その後、弾薬支処施設が設置され、自衛隊の皆さんと共に地域作りをし、共存共栄を目指してまちづくりをしようとしている地域である。今般は、非常に意義のある総会を当町で開いていただき感謝している。」と挨拶されました。この後、谷井課長から平成26年度予算に係る防衛省が所管する基地周辺対策経費について、総務省自治税務局固定資産税課の横田課長補佐から総務省が所管する基地交付金及び調整交付金についてそれぞれ説明が行われました。議事では、基地関係予算等の確保に向けた要望運動などを盛り込んだ3議案が原案どおり承認されました。

議事終了後、参加者は陸上自衛隊上富良野駐屯地を訪問し、部隊から業務概況説明を受け、10式戦車を視察し、その後、上富良野町が特定防衛施設周辺整備調整交付金で整備した消防車両を視察しました。

北海道防衛局としては、この総会を通じて、より防衛省・自衛隊への理解を深めていただき、関係住民の生活安定及び福祉の向上の推進等の活動に役立てていただけることを期待しております。



10式戦車の説明を受ける参加者
（上富良野駐屯地）



山口会長(千歳市長)



向山上富良野町長



谷井地方協力企画課長

北海道防衛局幹部紹介

～6月27日付けの異動で北海道防衛局の幹部が交代しました。～

次長 石尾 慎一郎

北海道は若い頃に私的にバイクやクルマでツーリングしましたが、勤務は初めてです。地方防衛局は、防衛省自衛隊と地域との架け橋を目指すという点は全国8局共通です。どんな「橋」がよいのか、それは必ずしも規格品ではなく、地域の文化や環境、様々な特長を踏まえて考えられるべきものだと思います。この地域の様々な声を聞き、そして地域の部隊・機関と連携協力しながら、取り組んでいきたいと思っております。



企画部長 早坂 茂紀

6月27日付けの人事異動で企画部長を拝命しました早坂です。北海道勤務は10年ぶりになります。当部の業務は、防衛行政に対する地域の理解と協力の確保、地方公共団体等との連絡調整、防衛施設周辺の生活環境の整備などです。地域の皆様の御意見等をしっかりと受け止め、皆様との信頼関係が更に充実発展しますよう、微力ながら努力してまいりたいと考えております。前回同様、よろしくお願い申し上げます。



調達部長 伊藤 義光

6月27日付けの異動で調達部長を拝命した伊藤です。北海道には平成20年度に1年間勤務しており、今回は2度目となります。調達部は自衛隊施設の建設や装備品の調達に係る業務を行っており、「ものづくり」を通して自衛隊が、その任務を最大限発揮できるよう微力ながら努力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。





米海軍ミサイル巡洋艦「シャイロー」 函館寄港

平成26年5月16日、米海軍第7艦隊（横須賀基地）所属のミサイル巡洋艦シャイローが、ペリー提督函館来航160周年記念行事への参加などの日米親善のため函館港に寄港しました。同艦は、東日本大震災の際にトモダチ作戦に参加し人道的支援を行ったことでも知られています。

乗組員は寄港中、函館市船見町にある外国人墓地において、ペリー来航の際に病死した2名の乗組員が眠る墓前に献花を行う記念行事等への参加のほか、滞在期間中に行われた「箱館五稜郭祭」において、旧幕府軍と新政府軍との戦いである戊辰戦争を再現した維新行列へ参加するなどして地域住民との交流を深め、20日母港の横須賀基地へ向け出港しました。

各地方防衛局では「合衆国軍隊等による公務中の事故等により損害を被った方に対して、日米地位協定に基づく損害補償」の業務を行っており、今回の寄港に際し北海道防衛局では、万が一不測の事態が発生した場合に、損害を被った方に対して損害賠償等請求手続きなどを迅速に案内するため職員を現地に派遣しました。

また、各地方防衛局では、米軍が港湾や飛行場、有料道路を使用した場合（米軍に提供した施設を除く。）は、日米地位協定※に基づき使用料が免除されることから、その施設の管理者に対して相応の損失を補償しています。

当局としては今後とも米軍の行動等に伴う事務処理手続きについて適切に対処するよう取り組んでまいります。



函館港に入港するシャイロー

※日米地位協定

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定



維新行列に参加するシャイロー乗組員
(写真：米海軍提供)

～豆知識～

◎ 箱館と函館

室町時代（1454年）、津軽の豪族がこの地に築いた館が、箱に似ているところから「箱館」と呼ばれる事となった。明治2年（1869年）開拓使出張所が開庁されたとき、箱館から函館に改められたとの説が有力です。

◎ 箱館五稜郭祭

戊辰戦争の舞台となった五稜郭にまつわる歴史を後世に伝えること目的として昭和45年から開催、「土方歳三コンテスト」など各種の行事があります。



防衛技官 南スーダンPKO（第6次隊）へ出発！



田邊北部方面総監による激励



激励を受ける兩名：背広姿（右から森田室長補佐、小山内係長）

防衛省装備施設本部（東京・市ヶ谷）では、所属する施設関係の防衛技官を国際平和協力業務に派遣しており、今回、国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS：United Nations Mission in the Republic of South Sudan）第6次隊には施設計画課施設設計室 森田室長補佐と、技術調査官付 小山内係長の2名の防衛技官（土木職）が参加しています。両名は、第6次隊の方々とともに、6月4日、田邊北部方面総監から激励を受けた後、道内自衛隊高級幹部や島川北海道防衛局長（当時）が見送る中、新千歳空港から南スーダンに向け出発しました。

南スーダンに到着後は、首都ジュバの自衛隊宿営地で約6か月間活動する予定で、派遣施設隊長の指揮の下、UNMISS司令部等と派遣施設隊との間における案件形成段階での技術的助言と、案件実施の際の設計及び施工など技術的な支援業務に従事することとなります。これまで数多くの施設建設業務で培った技術経験を活かし、建設工事に熟知した防衛技官ならではの活躍が期待されるところです。



出国前の見送り者との懇談

旭川市と帯広市で防衛問題セミナー開催！

北海道防衛局は、平成26年7月12日（土）、13日（日）に、旭川市と帯広市の後援を得て、旭川市大雪クリスタルホール及びとちかちプラザにおいて、防衛問題セミナーを開催しました。

今回の防衛問題セミナーは、「新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊」をテーマに、下記の概要で開催したものです。

会場には、地元自治体のほか近隣市町村から大勢の方々が来場され、「有事の際に日本の安心安全は果たして守られるのか不安を感じつつ、通常時の訓練の重要性と北海道の役割の大きさを感じた。」「自衛隊は頑張っているが、国民の理解と協力・支援が絶対条件であると感じています。」などの声が寄せられました。



防衛問題セミナー会場の様子（旭川）

【旭川市（会場：旭川市大雪クリスタルホール）】

講演①：「新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について」
（防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎 課長）

講演②：「北海道を取り巻く安全保障環境と第2師団」
（陸上自衛隊第2特科連隊長 南 浩 1 等陸佐）

後援：旭川市

来場者数：約110名

【帯広市（会場：とちかちプラザ）】

講演①：「新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について」
（防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎 課長）

講演②：「陸上自衛隊第5旅団の活動状況について」
（陸上自衛隊第5旅団長 深津 孔 陸将補）

後援：帯広市

来場者数：約80名

【各講演のポイント（講演①については、旭川・帯広共通）】

講演① 新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について（防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎 課長）

1 新たな防衛計画の大綱

(1) 我が国の防衛の基本方針

国際協調主義に基づく積極的平和主義

統合機動防衛力（厳しさを増す安全保障環境に即応し、海上優勢・航空優勢の確保など事態にシームレスかつ状況に臨機に対応して機動的に行い得るよう、統合運用の考え方をより徹底した防衛力）

(2) 各自衛隊の体制

（陸）機動運用部隊の保持、水陸両用作戦専門部隊の新編

（海）護衛艦部隊・潜水艦部隊・哨戒機部隊の体制増勢

（空）航空警戒管制部隊・戦闘機部隊等の増強

2 中期防衛力整備計画（平成26～30年度の5年間）

(1) 島嶼部に対する攻撃への対応：常統監視体制の整備、海上・航空優勢の獲得・維持

(2) 防衛力の能力発揮のための基盤強化：北海道の良好な訓練環境の活用拡大

(3) 地域コミュニティとの連携の重要性：地方公共団体、地元住民の理解を得られるよう、地域性に配慮・地元経済に寄与

3 北海道における陸上自衛隊体制整備の方向性：機動運用部隊の半数（2個師団・2個旅団体制）を北海道に保持



防衛省防衛政策局防衛計画課
中嶋課長

講演② 北海道を取り巻く安全保障環境と第2師団 （陸上自衛隊第2特科連隊長 南 浩 1 等陸佐）

●北海道を取り巻く安全保障環境（国外情勢）

- ・北朝鮮：瀬戸際外交継続、世界最大規模の特殊部隊保有
- ・中国：3段階の発展戦略構想①～2010年/基礎確立②～2020年/機械化実現・情報化建設、③～2050年/国防と軍隊の近代化
- ・ロシア：軍改革（指揮機構改革、軍の近代化、即応態勢強化）
- ・米 国：リバランス、遠距離戦力投射能力強化、同盟国との関係強化

●大綱に基づく陸上防衛構想

- ・「統合機動防衛力」実現のための即応機動する陸上防衛力
- ・機動展開能力向上
- ・「陸上総隊」新設

●第2師団の即応態勢と活動

- ・発災後3時間以内に主力部隊展開
- ・平成5年以降、国際平和協力活動13個のミッション参加



陸上自衛隊第2特科連隊長
南 1 等陸佐

講演② 陸上自衛隊第5旅団の活動状況について （陸上自衛隊第5旅団長 深津 孔 陸将補）

●第5旅団の概要

- ・警備地区：42市町村及び北方4島、面積約2万6千km² 人口約91万人を担当
- ・隊員一人当たりの面積7.1 km²と道内一
- ・重 装 備：90式戦車、99式自走155mmりゅう弾砲等
- ・即応態勢：発災後、300名規模の初動連隊3時間以内派遣

●教育訓練の実施状況

- ・「道場」としての道東地区：矢臼別・然別演習場
- ・H25年度、旅団演習（矢臼別、約1800名参加）、旅団小火器射撃競技会（然別、約640名参加）

●国際貢献における5旅団の活動

- ・平成5年以降、11個のミッション参加
- ・南スーダン国際平和協力活動（UNMISS）、H26. 6 から第5旅団管内で約300名派遣（うち女性8名）、食料・医療品等物資配布、道路等補修
- ・UNMISS派遣広報VTR放映



陸上自衛隊第5旅団長
深津陸将補



講師を派遣します！

～防衛省の政策、自衛隊の活動等についてご理解頂くために～

北海道防衛局は、防衛省の政策、自衛隊の活動、当局が行っている各種業務等に関する講演等について、当局管内の地方公共団体や学校等から御要望に応じ、講師を派遣しております。

平成26年5月20日(火)、当局は、一般社団法人白老青年会議所(白老JC)の御依頼を受け、しらおい創造空間「蔵」において、島川局長(当時)による講演を実施しました。

今回の講演は、「連携によるまちの未来」と題した白老JCの5月度例会において、防衛計画の大綱や地域と自衛隊の関わりなどを理解するために、同JCにより計画されたものです。

講演の冒頭に、白老JCの黒田理事長から「白老町では昭和33年に自衛隊が駐屯し、長きにわたり、自衛隊とまちが関わってきた歴史がある。島川局長の講演を聞いて、今後、地域と国防活動がどのように関わり、連携するかを考える時間にしたい。」と御挨拶があり、引き続き、白老JCのOBである戸田白老町長から「白老町におけるまちづくりの歴史は自衛隊・防衛局なくしてあり得ない。この講演を通して、よいまちづくりを行うためのアイデアを得たい。」と御挨拶がありました。

島川局長は講演の中で、防衛省の組織、我が国を取り巻く安全保障環境、平成26年度防衛関係費、北海道内との調和を図るための施策、新たな防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画について約1時間にわたり説明を行いました。

当日は、白老JCの会員のほか、白老町長、白老町議会議員、白老町商工会、白老ロータリークラブ、白老ライオンズクラブの会員など約40名の来場者が講演を聴講しました。



島川局長(当時)



講演の様子

平成26年7月1日(火)、当局は、登別市幌別駐屯地体制強化期成会(期成会)の御依頼を受け、登別市民会館において、島川局長(当時)による講演を実施しました。期成会は、平成25年11月に、駐屯地の現体制を強化発展するための方策を検討することを目的として発足したものであり、今回の講演は、防衛省の様々な施策を理解するために、同会により計画されたものです。

講演の冒頭に、期成会の沼田会長から「これからの防衛に対する意識の高揚とともに、自衛隊に対する更なる認識と理解を深めるために、このような機会を待ち望んでいた。多くの市民の皆様方にも防衛の大切さを通して、北海道防衛局との関わりについても知って頂くための有意義な時間としたい。」旨、御挨拶がありました。

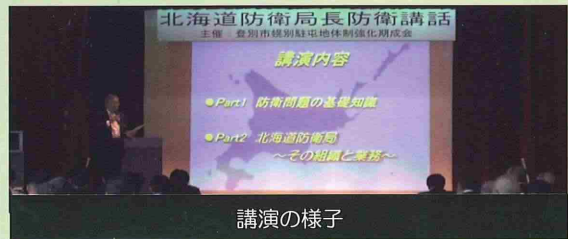
島川局長は講演の中で、「防衛問題の基礎知識」

「北海道防衛局～その組織と業務～」と題し、北海道防衛局の業務と地元との関わり方について約1時間にわたり説明を行いました。

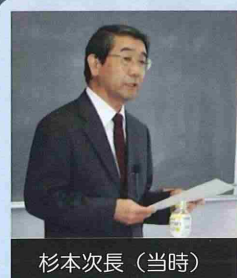
当日は、期成会顧問である登別市長、同市議会議員のほか、期成会役員の方々など約70名の来場者が講演を聴講しました。



島川局長(当時)



講演の様子



杉本次長(当時)

平成26年5月23日(金)、当局では、当局の入札監視委員会委員でもある北海商科大学の菊地均教授の御依頼を受け、講義の一環として学生に多方面の話を聞かせることにより教養の幅を拓けることを目的に、また、当局としても、防衛省・自衛隊の各種施策等について、より多くの方々に知っていただく良い機会と捉え、前回(平成26年1月31日)に引き続き、北海商科大学において当局杉本次長(当時)による講演を実施しました。

講演では「地方防衛局の業務」と題し、防衛省全体の組織、各地方防衛局の管轄区域、地方防衛局の組織及び地方防衛局の主な業務について説明しました。

当日は、北海商科大学第301教室において、約40名の学生が約50分間にわたる講演を熱心に聴講しました。

<講師の派遣実績>

開催年月	主催	参加数	講師	テーマ
22年 7月	ほくやく会	約60名	地方調整課長	北海道防衛局の概要、自衛隊の災害派遣、ハイチにおける自衛隊のPKO活動について
24～26年 毎年4月	北海道基地協議会	各回約230名	会計監査官ほか	・会計検査について ・防衛省の補助制度について
26年	北海商科大学	約40名	北海道防衛局次長	平成25年度防衛白書について
		約40名		地方防衛局の業務

北海道防衛局では、今後も講師派遣を推進してまいりますので、是非、当局の取組を活用されたく、御連絡をお待ちしております。

詳細については、当局ホームページを御覧ください。

講師派遣についてはこちら → <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/koushi/index.html>



陸上自衛隊 北部方面隊

「平成26年度 陸・海・空自衛隊 合同コンサート」 ～北の大地から～ 飛翔

北部方面隊（総監：田邊揮司良陸将）は、6月21日（土）、防衛省が主催し札幌コンサートホール Kitaraにおいて行われた、平成26年度「陸・海・空自衛隊合同コンサート」を担当・実施しました。

防衛省・自衛隊では「音楽」を通じて国民の皆様との親和をより一層深めるため、平成9年から、全国各地で陸・海・空自衛隊合同コンサートを開催しており、北海道での開催は、平成13年以来13年ぶりとなりました。

この合同コンサートは、今年で17回目となり、国内外で評価が高い陸上自衛隊中央音楽隊（朝霞）、海上自衛隊東京音楽隊（市ヶ谷）及び航空自衛隊航空中央音楽隊（立川）の3つの音楽隊が一同に会し、本格的なクラシックを楽しんで頂く演奏会です。



陸上自衛隊中央音楽隊
演奏曲「SF交響ファンタジー第3番」



海上自衛隊東京音楽隊
行進曲「虹と雪」



航空自衛隊航空中央音楽隊
演奏曲「セレブレーション」

コンサート当日は初夏の北海道のさわやかな快晴のなか、陸海空の各音楽隊が、たゆまぬ努力で培った演奏技術により、心を込めて奏でる吹奏楽を会場に訪れた多くの来場者にじっくりとお楽しみ頂きました。



陸・海・空音楽隊合同演奏
多くの来場者を魅了し感動のフィナーレ

また、テレビやラジオ等にも活躍の場を広げている海上自衛隊東京音楽隊所属のヴォーカリスト、三宅由佳莉3等海曹が、北原白秋作詞、山田耕筰作曲で「日本の歌百選」にも選ばれ札幌とも縁のある「この道」を熱唱すると会場から大きな拍手が巻き起りました。



三宅由佳莉3等海曹
独唱「この道」

海上自衛隊 函館基地隊

～ペリー来航160周年記念行事～



函館基地隊（司令：五島浩司1等海佐）は、5月20日（火）、ペリー来航160周年記念行事に伴う支援を行いました。

同行事に合わせて15日（木）第3護衛隊「すずなみ」が入港するとともに16日（金）には米海軍イーグリスミサイル巡洋艦「シャイロー」（艦長：クリューシュ・F・モリス大佐）が入港、函館日米協会会長、在札幌米国首席領事、ニューポート市長、函館市副市長、自衛隊協力団体他多くの方が出席の中、和やかに入港歓迎行事が行われました。19日夜には函館山にある会場で前夜祭が行われ、素晴らしい夜景とともに日米関係者が友好を深めました。



シャイロー艦長(左)と函館基地隊司令(右)による記念品の交換



墓前祭での献花の様子
(左から大湊地方総監部幕僚長、在札幌米国首席領事及びシャイロー艦長)

20日（火）には函館日米協会主催のペリー来航160周年記念墓前祭及び式典には、在札幌米国首席領事、ニューポート市長、函館市長その他多くの来賓が出席し粛々と行われ、海上自衛隊からは大湊地方総監部幕僚長（二川達也海将補）が出席、在札幌米国首席領事及びシャイロー艦長らとともに献花を行いました。墓前祭ではペリー提督率いる5隻の艦隊が函館に入港した際病死した2名の水兵の英霊に、また、式典ではペリー提督に対し敬礼するとともに、「せとぎり」「まきなみ」「ゆげしま」航海科員で編成したらっば隊によるらっば吹奏を行い敬意を表しました。夜には、遺愛学院でコンサート「黒船が運んできた音楽」が開かれ、函館基地隊隊員も参加し、一連の式典は滞りなく終了しました。

五島司令は「今後もイベント等を通じて地域団体との交流を深め、防衛基盤の拡充に努めていく」としています。

航空自衛隊 千歳基地

～8月3日（日）千歳基地航空祭開催～



今年も千歳基地にブルーインパルスがやってくる！！

8月3日（日）、航空自衛隊千歳基地（司令：小川能道空将補）（千歳市）において、千歳基地航空祭が行われます。

この航空祭は、北海道唯一の航空自衛隊の航空基地である千歳基地で、毎年、8月上旬に行われ、千歳市夏祭りのひとつとして、街を盛り上げています。平均約8万人（過去5年間）、過去最高12万8千人が、道内はもちろん、道外からも多くの方が訪れる北海道を代表するイベントのひとつです。

今年は、地域の皆様と一緒に航空祭を作り上げていこうと、初めて航空祭ポスターの募集（北海道在住の方限定）を行いました。応募数59点の中、札幌市在住 田畑史子さんデザインの素敵なポスターが選ばれ、全道各地に掲示しています。



初の一般公募を行い作成された今年のポスター

昨年の航空祭は、歴代2位の記録となる来場者数で、航空祭は、大いに盛り上がりましたが、その反面、千歳市内及び近郊の道路が渋滞し、多くの皆様に御迷惑をかけました。そのことを反省し、今年の航空祭は、交通渋滞緩和を重点事項とし、隊員一丸となり計画を進めています。当日は、大変混雑しますので、「公共交通機関」をご利用されることをお勧めしますが、前述のことから、基地内の駐車場は、「駐車券」が無ければ乗用車で基地内入場は出来ません。

乗用車でお越しの方で「駐車券が無い」方は、千歳市内に臨時的駐車場を2ヶ所（麒麟ビール千歳工場、アウトレットモール・レラ）設けておりますので、そちらをご利用になり「シャトルバス（有料）」で基地内に来場することが出来ます。また、基地周辺において、一部、「交通規制」が行われますので、誘導員の指示に従ってください。

なお、入場後、飛行場地区に入る際は、「保安検査」が行われますので、ご協力をお願いします。

航空祭では、今年もブルーインパルスの華麗な飛行やF-15戦闘機の編隊飛行や混合編隊飛行など、多くの飛行展示も行われ、華麗な飛行を皆様にお見せすることが出来ると思います。

- 航空祭に関する問合せ先： 0123-23-3101（内線2218）航空自衛隊千歳基地広報室
- 基地ホームページ： <http://www.mod.go.jp/asdf/chitose/>

北海道内の防衛施設



函館駒ヶ岳演習場

道場巡り ～蝦夷駒ヶ岳の麓の道場～

函館駒ヶ岳演習場（鹿部町）

本シリーズは、日頃なかなか目に触れることの少ない防衛施設にスポットを当て、皆様に御紹介するものです。
※「道場巡り」は、平成25年2月号（Vol.26）から連載してきましたが、本号で最終回となります。長い間御愛読ありがとうございました。次号からは新シリーズ「防衛施設歴史散歩」が始まります。

陸上自衛隊駒ヶ岳演習場は、茅部郡鹿部町に位置し、函館駐屯地から北に約40km離れた駒ヶ岳の東の麓に位置しています。演習場は東西約2km、南北約3km、全周約10km、総面積約470万㎡の中規模演習場であり、函館駐屯地業務隊が管理しています。

演習場の周囲は、東側に雄大に広がる噴火湾を一望し、西側に今もまだ噴煙が立ち上がる秀峰「駒ヶ岳」と道南地区の観光スポットである大沼国定公園があります。

駒ヶ岳演習場は北海道の演習場としては最南端に位置し、道南という気候の特性上、道内の他の演習場に比べ雪解けが早いいため、年度初めの部隊の基礎訓練に使用される頻度が高く、また、演習場の広さから普通科1個中隊規模の訓練等に最適な演習場です。

平成2年7月には函館駐屯地創立記念行事として公開演習（訓練展示）を行い、約1万2千人の多くの見学者が演習場に来場し、新聞やTVでも報道されました。

使用状況は、1年を通じて函館駐屯地（函館市）に所在する第28普通科連隊が主に戦闘訓練で使用しているほか、新隊員教育隊の25km徒步行進訓練、戦闘訓練等で使用しています。また、近年は真駒内駐屯地（札幌市）に所在する第18普通科連隊が雪解けを待って転地訓練に使用したり、本州の部隊が北方機動演習において使用する等、道内外の陸上自衛隊部隊の道場として利用されています。なお、平成25年度は、年間約120日、延べ6,500人の隊員が日夜訓練に励みました。

平成25年度から平成28年度までにかけて第28普通科連隊が主体となり演習場の大規模な整備・補修を実施中であり、今後、今まで以上に使いやすい演習場となり、ますます使用頻度が多くなると予想されます。

駒ヶ岳演習場での訓練状況



教育隊の25km徒步行進訓練



冬季におけるスキー行進訓練



演習場整備における道路補修訓練

（写真提供：函館駐屯地）

防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



鹿部町
川村 茂 町長

鹿部町は、渡島半島の東部に位置し、秀麗北海道駒ヶ岳を背に洋々たる太平洋に面した、噴火湾の出入口にある人口約4,300人の町です。

主な産業である漁業は、ホタテをはじめ、スケトウダラ、昆布など全国に誇れる豊富な水産物が水揚げされ、「水産王国」と称される鹿部町。

また、道内有数の活火山でもある北海道駒ヶ岳と共存する温泉の町でもあります。町を象徴する間歇泉は、大正13年に温泉の試掘中に見つかりました。しかべ間歇泉公園は、平成11年の開園以降「見て・学んで・触れて」楽しめる体験型公園として、町の新たな顔となっています。

毎年、夏に開催される最大のイベント「しかべ海と温泉（いでゆ）のまつり」では、町内・町外問わず多くの人々が参加し、毎年賑わっています。祭りの最後を締めくくるのは道南一を誇る花火大会。夜空を彩り、噴火湾に染める色鮮やかな光の戯れに息を呑むことでしょう。

町内には駒ヶ岳演習場が所在し、道南唯一の隊員錬武の地として、函館駐屯地の部隊をはじめ、多くの隊員が汗を流しています。今年3月には、陸上自衛隊第28普通科連隊と「大規模災害時等における連携に関する協定書」の調印を行いました。北海道駒ヶ岳を擁する当町にとって、協定による連携の強化は、さらなる信頼関係の構築と町民の安全をもたらしてくれるものと確信しています。今後も、自衛隊との絆を大切に、共に歩むまちづくりを目指してまいります。



しかべ間歇泉公園

支局だより・事務所だより

〇帯広防衛支局

～ 陸上自衛隊帯広駐屯地隊庁舎整備工事の紹介 ～



第5旅団（司令部・陸上自衛隊帯広駐屯地）は、道東地区の防衛・警備及び災害派遣等を担当しています。また、種々の国際平和協力活動にも部隊・隊員を派遣しており、現在も国連南スーダン共和国ミッション第6次隊において約300名の精鋭達が活動しています。

自衛隊の任務完遂には、各自衛官の高い知識・技能と各部隊の高い技量と士気の維持が必要で、種々の教育や日々の訓練の積み重ねがきわめて重要となります。これら教育訓練は、自衛官候補生として採用されるときから始まります。

この度、帯広防衛支局は、北部方面混成団第52普通科連隊及び第5旅団隷下部隊がその教育訓練の場として活用する「隊庁舎」の建て替え工事を実施しました。

この「隊庁舎」は、ひとつの建物内に、自衛官候補生や自衛官に任官したばかりの新隊員及び即応予備自衛官が教育期間中に居住する「隊舎」と新隊員等を教育訓練する教場や教育訓練に関する事務を行う「庁舎」が集約された施設で、新隊員等はこの隊庁舎で集団生活をしながら、自衛官として必要な資質を養い、基本的な知識や技能などを修得していきます。

これまで使用してきた旧隊庁舎は昭和31年に建設され、経年劣化による施設の老朽が進むなどの問題のため建て替えることとなり、新隊庁舎の建設工事に平成24年10月に着手し、平成26年6月に完成したものです。新隊庁舎は、鉄筋コンクリート構造4階建て、延べ床面積約6,800㎡で、1階と2階一部に事務室と教場などの庁舎機能を、2階一部から4階に新隊員等の生活に係わる居室、便所洗面所、洗濯室、シャワー室などの隊舎機能を備えています。

帯広防衛支局では、この新隊庁舎が精強な隊員育成に有効に活用されるよう、新隊庁舎の設計に際して、部隊関係者の方々と教育課程ごとの教場の使用状況、教育期間中の新隊員等の生活様式、新隊庁舎の使い勝手など様々な点について意見交換を重ね、照明、スイッチ、放送設備などの位置や個数、型式などに配慮するとともに、教場については、教育課程に応じた空間の確保が必要のため、中間柱をなくした大空間を確保し、展開が容易である可動間仕切り壁にて最大3グループ同時に異なる教育が行える室計画とし、生活・教育環境の充実を図りました。また、建設場所の帯広市は夏と冬の寒暖差が激しく特に冬季はマイナス20℃以上となる気候であるため断熱性能の高い外断熱工法を採用したほか、照明器具にLED灯の採用など公共施設としての環境負荷削減にも努めました。

「新隊員の希望に満ちた新たな門出のスタートとして真っ白なキャンパスに、これから自衛官としての自覚を描いていく」との設計コンセプトのもと、外観は白を基調とした色彩としました。

帯広防衛支局は、これからも、常に使用する方々の目線に立ち、万全の準備と丁寧な仕事に努めてまいります。



新隊庁舎の全景

〇千歳防衛事務所

～ 陸上自衛隊東千歳駐屯地創立記念行事 ～



平成26年5月25日、千歳市祝梅に所在する陸上自衛隊東千歳駐屯地において、我が国唯一の機甲師団である第7師団の創隊59周年及び東千歳駐屯地の創立60周年記念行事が一般開放されて行われ、市民ら約15,000人が訪れました。

駐屯地内の第2滑走路で行われた祝賀式には、道内選出の国会議員、第7師団管内の関係自治体の長など多数の来賓が出席し、当局からは、島川北海道防衛局長（当時）等が出席しました。



駐屯地内会場での音楽隊の演奏

祝賀式に引き続き行われた観閲行進

では、90式戦車など車両約400両が土煙を上げて行進を行い、その後の訓練展示では、戦車や自走りゅう弾砲のほかヘリコプター等も参加し、迫力ある模擬戦闘が披露されました。また、駐屯地内の他の会場では、戦車の試乗や装備品の展示のほか、地域物産展や音楽隊の演奏なども行われ、訪れた家族連れらで賑わいました。

千歳事務所では、管内関係機関との連携強化を図るため、今後も管内で行われる各種行事において、引き続き情報交換等に努めていきたいと考えています。



90式戦車の観閲行進

防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～特定防衛施設周辺整備調整交付金の事業の紹介～

前号では平成25年度における各事業ごとの補助金交付額等の実績について御紹介しましたが、今号ではそのなかの特定防衛施設周辺整備調整交付金の事業を御紹介します。

特定防衛施設周辺整備調整交付金は、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条に基づき、ジェット機が離着陸する飛行場や砲撃などが実施される演習場などの防衛施設の設置又は運用により、周辺地域の生活環境やまちづくりに大きな影響を及ぼしている市町村に対して、公共用の施設の整備又は生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため交付されるものです。

これまで北海道防衛局では「消防に関する施設」の事業として、高規格救急車、防災用発電機設置、人工蘇生システム、消火栓設置など特定防衛施設が所在している市町の住民の生命、財産を守るための事業に対して多く交付してきたところです。

ここでは、平成25年度に上富良野町、白老町が整備した、当該交付金を活用した消防に関する施設（消防ポンプ付水槽車・防火服）について御紹介します。

上富良野町では、現在使用している消防車が経年劣化により不具合等も発生し、緊急時において速やかに対応するため消防ポンプ付水槽車を購入しました。また、白老町では、現在使用している防火服は経年劣化により、消火活動に支障をきたすおそれがあるため新たに防火服を購入しました。

いずれも、当該交付金事業が防衛施設周辺の住民の方々への安全・安心を守るために役立てられています。



上富良野町：消防ポンプ付水槽車の整備

担当署員の声：
最新消防車両の導入は、消防装備の充実が図られ、消火効率の向上・隊員の安全面についても強化され、住民の生命・財産の保全と被害の軽減に寄与し、地域全体の安心・安全に貢献するものと考えます。



白老町：防火服の整備

担当署員の声：
この度導入の防火服は、立体構造により動きやすく、各部補強が施され、不安なく消火活動ができる最適な装備品で、消火活動へ大きな効果が得られると考えます。

公共調達の入札及び契約の適正化に取り組んでいます

～入札監視委員会の実施～

公共調達の入札及び契約に関する透明性の確保は、入札及び契約に関する不正行為の防止を図るとともに、国民に対してそれが適正に行われていることを明らかにする上で不可欠です。このため、平成18年7月19日、旧札幌防衛施設局に、旧札幌防衛施設局及び旧帯広防衛施設支局が発注する建設工事等の入札及び契約を審議対象とした学識経験等を有する第三者で構成する入札監視委員会が設置されました。その後、平成20年4月1日に、管轄区域に所在する他の契約実施機関（陸・海・空自衛隊等）が行う入札及び契約を審議対象に加え、公共調達の入札及び契約の適正化が一層推進されました。

当該委員会は、大学教授、弁護士、公認会計士等様々な分野の専門家5名の委員で構成され、四半期毎に開催、参加資格の設定の経緯、落札者決定の経緯及び随意契約の相手方選定の経緯等についての審議を行っています。委員は、事案毎に、担当者からの詳細な（ときには専門的な内容にいたる）聞き取りを通じ、入札及び契約の過程等に不自然な点がないか、中立・公正の立場で客観的に、かつ、種々な視点・角度から審議を進めていきます。

平成26年6月17日に、平成26年度初回の入札監視委員会が北海道防衛局において開催され、平成26年1月から同年3月までの間に契約締結された北海道防衛局調達部及び帯広防衛支局の建設工事等の各事案に係る審議が行われました。委員会では、1者のみの応札となった事案について特に重点的に取り扱うとともに、予定価格に対し応札額が超過又は極端に低額となった事案等についても注意深く審議されました。

北海道防衛局としては、このような第三者の監視を受ける入札監視委員会を通じ、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性の確保、公正な競争の促進、不正行為の排除の徹底などに取り組み、引き続き入札及び契約の適正化に積極的に努めてまいります。

なお、審議結果については、当局情報公開室に備え置いて閲覧に供しているとともに、当局ホームページにおいて公表しています。



入札監視委員会での審議風景

※北海道防衛局ホームページ 入札・契約情報『入札監視委員会』 <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

～新・自衛隊札幌病院建設工事 順調に進行中～



自衛隊札幌病院は、昭和30年に陸上自衛隊豊平駐屯地に開設された北海道地区唯一の自衛隊病院です。

自衛隊札幌病院は、経年による施設の老朽化や狭隘化により最新医療をスムーズに導入できないなどの問題が浮上したため、豊平駐屯地の機能全てを陸上自衛隊真駒内駐屯地に移転再配置することとなり、来年3月の開院に向けて、現在、真駒内駐屯地において新・自衛隊札幌病院のほか、看護庁舎、隊舎、倉庫、警衛所などの施設の建設工事を精力的に行っています。

病院本体の建設工事は、平成24年2月15日に工事着手しましたが、東日本大震災の復旧・復興の本格化により、道内の職人や建設資材等が不足する中、工期末の平成26年12月20日

に工事を完成させるために北海道防衛局調達部と建設工事受注者間において綿密な工程管理の調整を幾度となく行うことにより、遅延なく工事を進めています。現在は、建物本体の躯体工事及び外装工事まで完了し、引き続き内装等の建築工事、設備工事及び外構工事を行っています。これまでは養生シートで隠れていましたが、外装工事が完了し5月下旬から養生シートを外したことから、新・自衛隊札幌病院の姿が徐々に現れ始め外部からも視認できるようになり、地域の方々からは開院を早く待ち望む声が聞かれるようになり始めました。

この新・自衛隊札幌病院の設計コンセプトは、「地域に親しまれる開放感に満ちた病院」であり、正面低層部は大きなガラスのカーテンウォールから採光を取り入れた北海道開拓時代を連想させる赤レンガ調の色彩とし、4階から6階までの高層部は雪国北海道の雄大なイメージと清潔感を連想させるホワイトグレーの色彩としています。

入院される患者に特に配慮するため、約80室ある病室の施工に先がけて病室のモデルルームを設置し、昨年11月に自衛隊札幌病院に勤務する医療関係者のほか自衛隊部隊関係者等を対象に現場見学会を開催して、車椅子の動線や各ベットに備える医療機器の配置などを確認した後、現場見学会での意見を元に改善策を講じた病室を先行施工して、本年4月に自衛隊札幌病院に勤務する医療関係者の方々と最終の完成形を確認した後、病棟（4階から6階まで）の本施工に着手しました。

北海道防衛局調達部は、病院の基本理念である「心の通う、信頼される病院」を実現するため、新・自衛隊札幌病院及び付帯施設の建設について、平成26年12月20日の工事完成に向け、職員の総力を結集し今後とも安全かつ着実に工事を進めてまいります。



新・自衛隊札幌病院の建築規模は地上6階、地下1階、延床面積約22,700㎡。診療科は、内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、救急科の計16診療科。病床数は計200床（災害時は200床から400床へ増床可能）を備えた病院となり、平成27年の春に開院予定です。平成19年には、保険医療機関に指定され、一般の患者も受け入れています。

※自衛隊札幌病院（豊平駐屯地）ホームページ <http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/hosp/>

※新・自衛隊札幌病院については、これまで広報誌「防衛北海道」の、Vol.26「建設計画のアプローチ：新・自衛隊札幌病院の建替計画の紹介」、Vol.32号「自衛隊札幌病院建設現場見学会」に掲載していますので、御覧下さい。
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

北海道防衛局からのお知らせ

防衛省における建設工事の契約保証制度が改正されました！

防衛省が発注する全ての建設工事請負契約に契約保証を付すこととしています。これまでは、契約保証額を請負代金の30%以上とし、履行ボンド（公共工事履行保証証券）による保証に限定していました。

今般、一部の工事を除き、平成26年8月1日以降に入札公告に付す工事から、保証の割合を、請負代金の10%以上に引き下げ、保証手段も、履行ボンドのほか、契約保証金の納付等による保証を可能とします。

詳細につきましては、当局ホームページで公表しておりますので御覧下さい。

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

■お問い合わせ先

北海道防衛局調達部調達計画課 電話：011-272-7512
帯広防衛支局建設計画官 電話：0155-22-1182



平和を、仕事にする

平成26年度 陸海空自衛官募集



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	
航空学生	高卒(見込含)21歳未満の者	8月1日(金)~9月9日(火)	1次: 9月23日(火) 2次: 10月18日(土)~23日(木) 3次: 11月15日(土)~12月18日(木)	1次: 10月10日(金) 2次: (海)11月12日(水) 2次: (空)11月7日(金) 最終: 27年1月21日(水)	
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	8月1日(金)~9月9日(火)	1次: 9月19日(金)・20日(土) 2次: 10月9日(木)~15日(水)	1次: 10月2日(木) 最終: 11月7日(金)	
自衛官候補生	男子	18歳以上27歳未満の者	年間を通じ受付を行っています。詳しくは、最寄りの自衛隊協力本部にお問い合わせ下さい。		
	女子		8月1日(金)~9月9日(火)	9月25日(木)~29日(月)	11月7日(金)
防衛大学校	推薦	高卒(見込含)21歳未満で、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績を納め、学校長が推薦できる者	9月5日(金)~9月9日(火)	9月27日(土)・28日(日)	10月31日(金)
	総合選抜	高卒(見込含)21歳未満の者(自衛官は23歳未満)	9月5日(金)~9月9日(火)	1次: 9月27日(土) 2次: 11月1日(土)・2日(日)	1次: 10月17日(金) 最終: 11月28日(金)
	一般(前期)		9月5日(金)~9月30日(火)	1次: 11月8日(土)・9日(日) 2次: 12月9日(火)~13日(土)	1次: 11月28日(金) 最終: 27年1月20日(火)
防衛医科大学校医学科学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月5日(金)~9月30日(火)	1次: 11月1日(土)・2日(日) 2次: 12月17日(水)~19日(金)	1次: 12月3日(水) 最終: 27年2月18日(水)	
防衛医科大学校看護学科学生(自衛官候補看護学生)			1次: 10月18日(土) 2次: 11月29日(土)・30日(日)	1次: 11月14日(金) 最終: 27年2月6日(金)	

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



函館地方協力本部
0138(53)6241



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)2485

◆募集コールセンター 守ろうみんなの国
0120-063792
年中無休受付時間 12時~20時



自衛官募集ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/>

自衛官募集 検索

自衛官募集携帯サイト



8~9月の道内自衛隊の主なイベント

開催日	開催場所	イベント名	お問い合わせ
8月3日(日)	千歳基地	千歳基地航空祭	千歳基地監理部広報室 0123-23-3101
	幌別駐屯地	幌別駐屯地創立61周年記念行事	幌別駐屯地広報班 0143-85-2011
8月3日(日) 4日(月)	苫小牧港	艦艇広報(苫小牧)護衛艦「くらま」	札幌地方協力本部 011-631-5477
8月4日(月) 5日(火)	函館港	艦艇広報(函館)護衛艦「あしがら」	函館地方協力本部 0138-53-6241
8月10日(日)	岩見沢駐屯地	岩見沢駐屯地創立61周年記念行事	岩見沢駐屯地広報班 0123-23-2106
8月24日(日)	白老港	艦艇広報(白老)掃海艇「ながしま」	札幌地方協力本部 011-631-5477
8月31日(日)	函館駐屯地	函館駐屯地創立64周年記念行事	函館駐屯地広報室 0138-51-9171
9月6日(土) 7日(日)	室蘭港	艦艇広報(室蘭)ミサイル艇「くまたか」	札幌地方協力本部 011-531-5477
9月7日(日)	白老駐屯地	白老駐屯地創立56周年記念行事	白老駐屯地広報室 0144-82-2107
	標津分屯地	標津分屯地創設56周年記念行事	標津分屯地 0153-82-2145
9月13日(土)	帯広駐屯地	第5旅団創立10周年・帯広駐屯地創設63周年記念行事	第5旅団広報班 0155-48-5121
9月14日(日)	南恵庭駐屯地	南恵庭駐屯地創立62周年・北部方面施設隊創設6周年記念行事	北部方面施設隊広報班 0123-32-3101
9月28日(日)	美深町文化会館	北部航空音楽隊演奏会	旭川地本名寄出張所 01654-2-3921

注: 行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。

~防衛省・自衛隊60周年記念ロゴマーク~

防衛省のロゴマークは、平成19年に防衛省への移行を記念して一般から公募して決定されたもので、緑の部分は26万人の隊員からなる防衛省を、青い球の部分は地球を表しており、日本の防衛と国際社会の平和のために積極的に行動する防衛省の仕事と隊員の気持ちを表しています。
今年度、防衛省・自衛隊が発足60周年を迎えることを記念して青い地球の部分に「60th」をあしらっています。



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE